

2003年1月の東北地方の天候

【1月の特徴】

- ・ 東北太平洋側中心に多雨（雪）
- ・ 月平均気温は平年並

（1）概況

上旬や下旬は低気圧が発達しながら通過したため各地で雨や雪となり、東北太平洋側中心に多雨（雪）となった。低気圧の通過後は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、大雪やふぶき、暴風により交通機関などに影響が出た。その他の日は冬型の気圧配置となることが多く、東北日本海側は曇りや雪または雨、東北太平洋側は概ね晴れた。

なお、10月下旬から続いた気温の低い状態は1月上旬までで収まり、1月の月平均気温は平年並となった。

月平均気温は平年並。月降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。月降雪量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

注）気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については3ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、2ページ目下段の脚注を参照して下さい。

（2）天候経過

上旬：はじめ冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪となったが、東北太平洋側では概ね晴れた。3~4日は、低気圧が発達しながら東北地方を通過したため天気が崩れた。低気圧の通過後は、6日にかけて強い冬型の気圧配置となり、大雪やふぶきのため交通機関などに影響が出た。7日以降は冬型の気圧配置が緩み、東北太平洋側では概ね晴れたが、東北日本海側は寒気の影響で曇りや雨または雪となった。

平均気温は低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。

中旬：日本の北を低気圧や気圧の谷が周期的に通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となった。13~14日にかけて寒冷前線が東北地方をゆっくり南下し各地で雨となった他は、東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では概ね晴れた。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

下旬：23~24日は低気圧が発達しながら本州の太平洋岸に沿って北東進したため、東北太平洋側を中心に大雪となり、交通機関などに影響が出た。また、27日は低気圧が発達しながら日本海を北東進したため、東北地方は南から暖かい空気が入って雨となった。その他の日は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は曇りや雪、東北太平洋側では概ね晴れた。特に28日以降は強い冬型の気圧配置となって各地で暴風となり、29日は強い寒気が南下して東北太平洋側でも大雪となって、交通機関などに影響が出た。

平均気温は平年並。降水量はかなり多い。日照時間はかなり少ない。

(3) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪、月降雪量の3位まで。ただし、白河の月降水量と新庄・むつ・白河の月最深積雪は、統計期間が短いため1位に該当した場合のみ示す。新庄・むつ・白河の月降雪量は観測していない。)

月降水量多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量 (mm)	これまでの最大(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
2位	新庄	268.5	349.0 (2002)	1986	181.4
3位	大船渡	152.5	179.5 (1972)	1964	43.5

(4) 月気候表(2003年1月)

地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比) mm % 階級	月間日照時間(平年比) h % 階級	月最深積雪(平年値) cm cm 階級	月降雪量(平年値) cm cm 階級
青 森	-1.2 (+0.2) 0	123.5 (85)	43.1 (76)	82 (86) 0	278 (271) 0
深 浦	0.0 (+0.4) 0	117.0 (121) +	14.1 (45) *	16 (31)	75 (75) 0
む つ	-1.4 (+0.2) 0	95.0 (99) 0	54.9 (71) *	44 (47) 0	--- (---) ---
八 戸	-0.9 (+0.3) 0	33.0 (68) 0	112.5 (84)	10 (18)	26 (39) 0
秋 田	0.1 (+0.2) 0	149.0 (130) +	23.7 (53) *	25 (31) 0	97 (98) 0
盛 岡	-2.2 (-0.1) 0	100.0 (198) +*	97.9 (79)	56 (27) +*	104 (60) +*
大 船 渡	0.8 (+0.1) 0	152.5 (351) +*	140.5 (95) 0	7 (7) 0	13 (13) 0
宮 古	0.2 (0.0) 0	120.5 (229) +	152.0 (93)	11 (12) 0	26 (21) +
仙 台	1.5 (0.0) 0	74.0 (224) +*	167.9 (111) +	20 (11) +	30 (20) +
石 卷	0.7 (+0.2) 0	100.5 (304) +*	188.2 (112) +	21 (8) +*	31 (14) +*
山 形	-0.5 (0.0) 0	114.5 (152) +*	81.9 (91)	61 (37) +*	167 (109) +
新 庄	-1.2 (+0.1) 0	268.5 (148) +*	36.4 (84)	111 (97) +	--- (---) ---
酒 田	1.7 (+0.2) 0	210.5 (138) +*	32.2 (81)	21 (27) 0	63 (80) 0
福 島	1.2 (-0.2) 0	82.5 (188) +	154.0 (113) +	20 (18) +	59 (44) +
若 松	-1.0 (-0.3) 0	100.5 (124) +	90.3 (112) +	54 (44) +	178 (139) +
白 河	-0.1 (-0.3) 0	88.5 (289) +*	163.4 (102) 0	24 (14) +	--- (---) ---
小名浜	3.3 (-0.3) 0	86.5 (187) +	203.4 (107) +	0 (3)	0 (5)

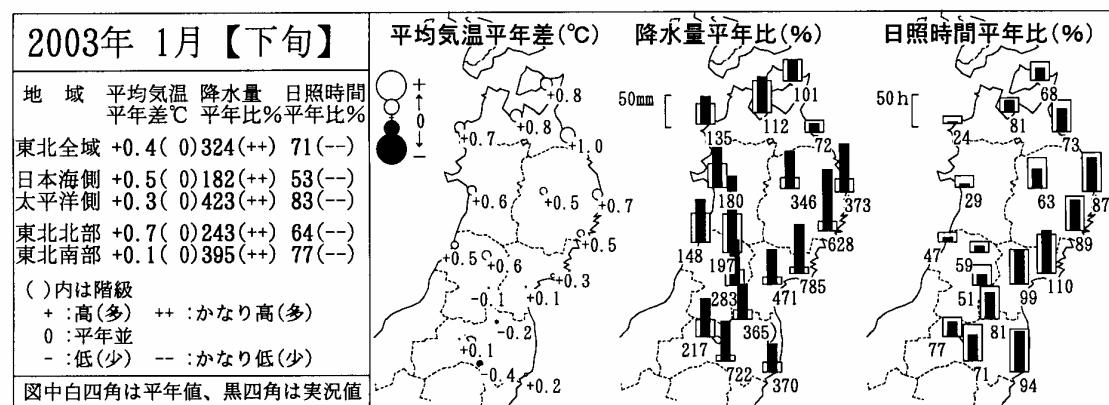
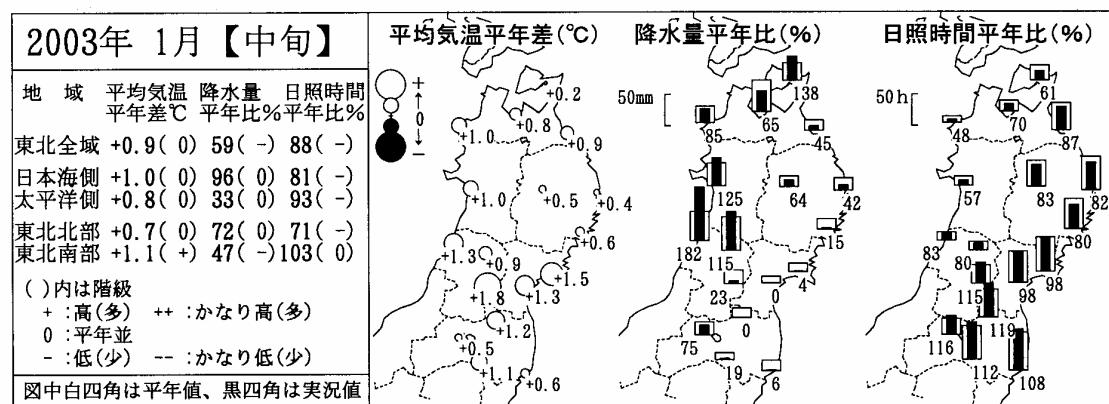
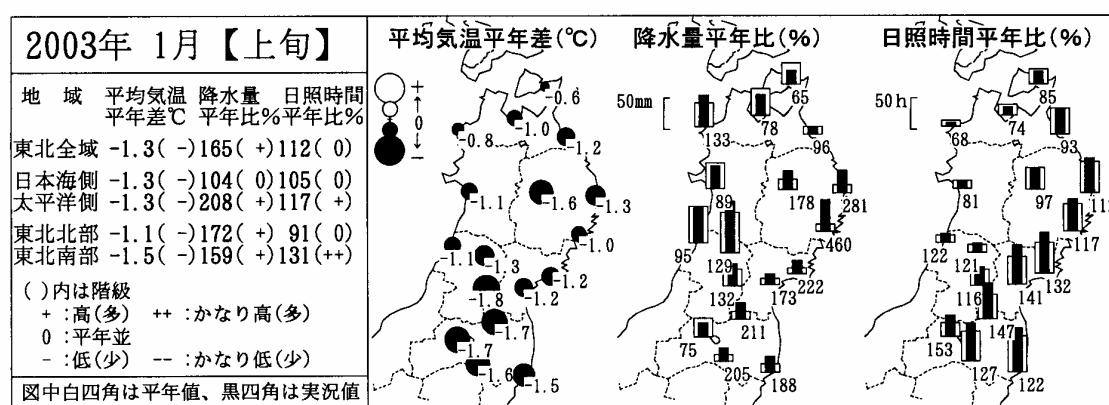
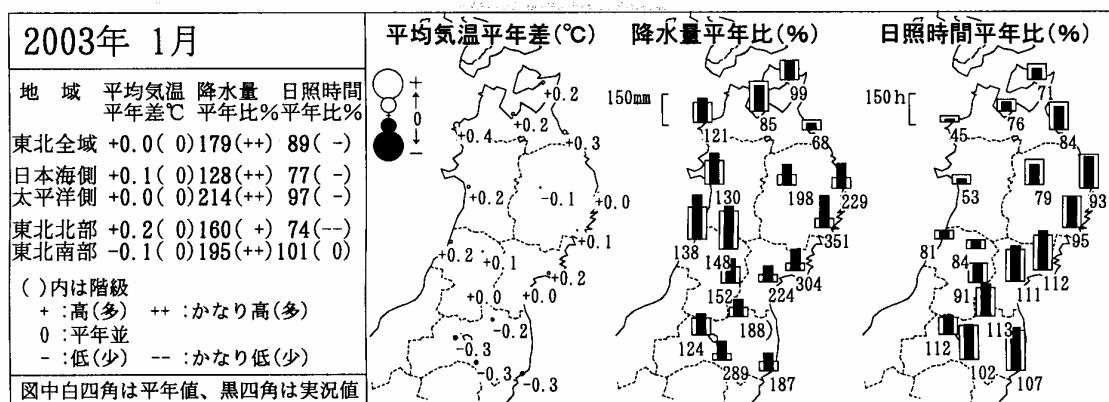
観測値欄の記号は、×：欠測　)：欠測日を含む　-：現象なし　---：観測をしていない

階級は +：高い(多い) 0：平年並 -：低い(少ない) *は「かなり」を表す

月最深積雪と月降雪量の階級については、平年値が「1cm」以上の場合のみ表示する

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間ににおいて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(5) 2003年1月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

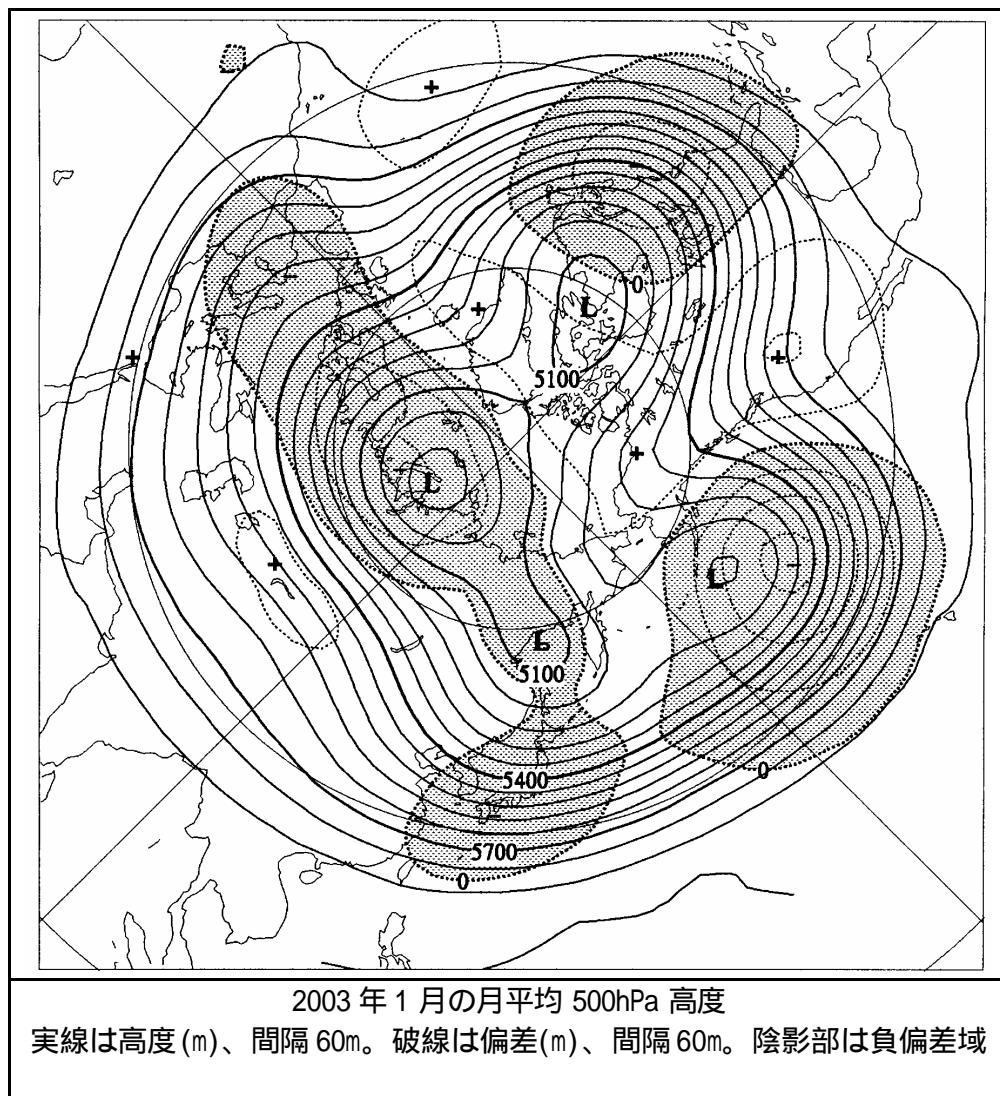
東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(6) 2003 年 1 月の循環場の特徴



極付近が強い負偏差（平年より高度が低い状態）となり、10 月から 12 月にかけて続いた極付近の寒気が中緯度に南下しやすい状態は弱まった。しかし、日本付近は気圧の谷となることが多かったため、弱い負偏差となった。

東北地方は、上旬に強い寒気の影響を受けたが中旬以降は一時的で、低気圧が日本海や日本の北を通って南から暖かい空気が流れ込んだため、月平均気温は平年並となった。